

特定非営利活動法人
いとしま児童クラブ

会報 No.7
2026. 2月発行



「みんなの居場所」開設4年目に向かって!!

会員の皆様におかれましては、新しい年をお元気にお迎えのことと存じます。
「みんなの居場所」では日々こども達との時間に忙殺され、新年のご挨拶と日々の活動報告が随分遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

来所のこども達が多くなればなるほど、様々な場面でお互いがぶつかり、ケンカが発生します。でも、3年も経つと、こども達はお互い話し合い、折り合いをつけることができるようになってきています。又、異年齢で持っているものがそれぞれ違う者同士が、どうしたら一緒に楽しく過ごせるか、アイデアを出し合い、工夫して過ごしています。
日々、こども達が元気に成長していることを、スタッフ一同実感しているところです。
こども自身は居場所の空間・居場所での関係性を考え、そのことを大切にしています。

私たちは、こども達のツマヅキや立ち止まることを受け入れ、こども達が試行錯誤の中でゆっくり育つことを保障する「みんなの居場所」となることをめざしています。
今回の通信は、元気に日々過ごすこども達の様子をできるだけ多く知っていただきたく、写真を沢山載せました。ホームページも参照してください。

理事長　江頭晶子

日々のひとこま♡



「とまり木オンラインサロン」のご案内

～豊富な情報、学び、コミュニティと出会え、おうちに居ても安心して利用できるオンラインの居場所です

保護者や支援者がつながり、学び合い、安心できる時間を共有するためのコミュニティで、専門家による講座動画の見放題、リアルな経験談が聞けるライブ配信、気軽に参加できるおしゃべり会などが充実しています。
「正解を探す場所」ではなく、「立ち止まり、心を休め、次の一歩を考えられる場所」。そんな“とまり木”のような存在です。こどもさん自身が参加できる場や情報もあります！

当団体、いとしま児童クラブ「みんなの居場所」は団体会員として登録しております。当団体を通してお申し込みいただくと、通常よりお得な《月額500円》でご利用いただけます　。こどもの未来応援国民運動
不安な気持ちにそっと寄り添ってくれる学びとつながりを、ぜひ体験してみてください。



とまり木オンラインの特徴　詳細はこちら

とまり木オンラインは、不登校の子を支える仲間に出会えるオンラインコミュニティです。



≪今後の予定≫

第18回総会　5/31（日）予定
今後の学習会　「こどもの育ちを考える学習会」
6月頃「一人ひとりに合った学びとその環境づくり～合理的調整とは？」（仮題）
NPO法人ゆめふうせん理事長平岡亜美氏
8月頃「養育とは？　マルトリートメントと脳への影響について」（仮題）
福岡市立南部療育センター診療所長・小児科医　八坂知美氏

体験活動あれこれ　こどもの未来応援国民運動
2/9（月）　MUKAであそぼう（予備日2/16）
2/16（月）スライムであそぼう
3/9（月）　Dr.キーダの科学教室
3/31（火）まるゐとであそぼう

☆他体験活動の機会など、随時希望もお聞きしながら計画していきます。
※詳細及び「大人の茶話会」（月１回）は、HP,SNSにてご案内していきます。チェックしてみてくださいね。

HP

NPO(特定非営利活動)法人いとしま児童クラブ
〒819-1128
福岡県糸島市篠原東一丁目23番32号
☎ 092-332-0112　fax 092-324-1701
mail：itosima.jidou.c@gmail.com

≪NPO入会案内≫
会費（年会費）　会員（個人・団体）　5,000円
賛助会員（個人・団体）　2,000円
※ いとしま児童クラブは、会員の皆様の会費とご寄付で運営されております。
活動の主旨にご賛同頂ける方々の入会、寄付を募っております。
一口5000円からの団体会員様や寄付も受け付けております。 ご協力どうぞ宜しくお願いいたします。
〈郵便振込口座〉 01750-4-135011

※みんなの居場所の利用にあたって、入会の必要はありません。

9.6 多様な居場所づくりを学ぶ会　第1回　ご報告

「こどもが安心できる場とは？」

～栗林知絵子氏をお招きして



詳細はこちら

2025年9月6日、「多様な居場所づくりを学ぶ会～こどもが安心できる場とは？」を開催しました。講師には、東京・池袋で地域の居場所づくりを展開する豊島子どもWAKUWAKUネットワーク代表の栗林知絵子さんをお迎えし、その実践とこどもの声を軸にした支援の在り方を学びました。

栗林さんは、自身の子育ての中で食や自然の体験を重視する活動から始まり、地域での無料学習支援や子ども食堂の開設など、困難を抱える子どもに寄り添う多様な活動を展開してきました。そこでは、こどもの「本当の声」に耳を傾けることから関係性が広がり、地域の大人たちとのつながりが自然に生まれていったと語られました。

特に語られたのは、「こどもの声を真摯に受け止めること」の重要性です。こどもは必ずしも自分の気持ちを言葉で表現できないことがあり、大人が率先して関係をつくり、安心して過ごせる場を提供することが、こどもの人権意識を育むことにつながる」との話が印象的でした。

さらに、中学校不登校の増加に対応するために、学校と連携して立ち上げられた「にしまる一む」の事例も紹介されました。子どもたち自身の要望で週1回から開催頻度が増え、IKEA基金の協力で子どもたちのアイデアによるレイアウトが実現し、異年齢での交流や「話しやすさ」を感じられる空間となっています。





何もないところからアイデアを出し合い、つながりを作って創り出していく市民～その実践を分析して理論立てて説明する学者～利益を生むサービスとして成り立たせる企業～利益は出ないけどやる必要があることをやる公務員・行政、と、そんなふうに官民連携で地域づくり、居場所づくりができていく。その一端を担い、着実に実現されているWAKUWAKUネットワークの実践に希望をいただきました。

質疑応答では「難しいことを、わからないね、と言い合える仲間やつながりがあるから心強いし、温かい気持ちになれる。ゆるやかなつながりがあちこちにあって、WAKUWAKU広がっていくといいんでしょうね」と。共催の産の森学舎さんによる心のこもったおもてなしも、場の温かさを一層引き立てました。

9.2　防災食づくり

こどもの未来応援国民運動





いろりで干し芋も♡

10.9　ブンネであそぼう







秋休み企画！





もりあがったね！
グリーンコードさん、ありがとうございました！

11.23　多様な居場所づくりを学ぶ会　第２回　ご報告

『市民がつくった学校の軌跡と教育の可能性』

～辻正矩氏をお迎えして



詳細はこちら

2025年11月23日、「多様な居場所づくりを学ぶ会第2回」を開催し、講師に大阪府箕面市の市民立「箕面こどもの村」創設メンバーである辻正矩（つじ まさのり）氏をお迎えしました。辻氏は世界各地の多様な学校を訪ねて得た幅広い知見を基に、「こどもが幸せであること」を中心に据えた学びと居場所づくりの実践を紹介しました。

講演では、「すべての時間・すべての関わりの中でこどもの声を聴くこと」「失敗を含めた実体験が本当の学びになること」「異年齢で学び合う共同体の力」など、20年以上にわたる実践に基づいた確信ある言葉が語られました。また、A案・B案の多数決ではなく、「納得するまで話し合い続けるC案づくり」のプロセスが、子ども自身の成長と共同体の活力を生むというお話が印象的でした。









後半は小グループ座談会を行い、参加者同士で活発な意見交換が進みました。日頃なかなか接点のない立場の方々が集い、こどもの未来や地域の教育のあり方について真剣に対話が交わされ、場全体がエネルギーに満ちた時間となりました。

今回の学びの会は、こどもの育ちや支援の多様性を考える貴重な機会となりました。今後もこのような対話の場を大切にしていきたいと思います。

10.7　まるゐとであそぼう

こどもの未来応援国民運動



11.7　MUKAであそぼう









乗馬・ブラッシング・
山登り・火おこし、etc…



12.26　おもちつき





1.9 けん玉あそび with たもつさん









まずはバランスとりながら
色々チャレンジ



